

# 一般社団法人飯塚青年会議所 2026 年度 基本方針

国際的ネットワーク創新委員会

委員長:渡邊雄志

## 【事業計画】

●7 月例会アワーの企画・工夫を凝らした動員・実施

## 【年間事業フレーム】

No.17

(理想像)

一般社団法人飯塚青年会議所(以下、飯塚 JC)メンバーが、青年会議所が持つ国際の機会に触れ新しい価値観に出会い、自らの可能性を広げることを目指します。

(調査・研究方針)

1. どのような国際交流を行っているか知るために、他 LOM(青年会議所)にヒアリングを行います。
2. 青年会議所に国際の機会がどれだけあるのかを知るために、公益社団法人日本青年会議所(以下、日本 JC)・国際青年会議所(以下、JCI)にヒアリングを行います。
3. ASPAC(新潟)、世界大会(クラーク)での国際交流の機会を知るために、他 LOM(青年会議所)にヒアリングを行います。
4. 国際への現時点の意識・興味・期待・不安を知るために、飯塚 JC 関係者にアンケートを行います。
5. JCI メンバーとのビジネスの可能性を知るために、日本 JC・JCI にヒアリングを行います。
6. 海外のビジネスマッチングを知るために、日本 JC・JCI にヒアリングを行います。
7. 飯塚市、嘉麻市、桂川町(以下、2 市 1 町)が行っている国際交流の現状を知るために、行政・自治体にヒアリングを行います。

## 【事業計画】

●国際的ネットワーク創新事業

## 【年間事業フレーム】

No.25

(理想像)

飯塚JCメンバーが、2 市 1 町と世界をつなぐ存在となることを目指します。

(調査・研究方針)

1. 姉妹 JC とどのような交流を行っているか知るために、他 LOM(青年会議所)にヒアリングを行います。
2. より多くのメンバーが台東国際青年商會(以下、台東 JC)との交流に関心を持ち、参加したくなる要素を見つけるために、飯塚 JC 関係者へのヒアリングとアンケートを行います。
3. 台東 JC メンバーの職種を知るために、2026 年度台東 JC 国際委員長にヒアリングを行います。
4. 台東 JC メンバーの文化・価値観・活動を知るために、2026 年度台東 JC 国際委員長にヒアリングを行います。
5. 飯塚 JC と台東 JC のそれぞれがお互いをどう思っているかを知るために、飯塚 JC 関係者と 2026 年度台東 JC 国際委員長にヒアリングを行います。
6. 心と心の交流を続けるために、飯塚 JC 関係者と他 LOM(青年会議所)にヒアリングを行います。
7. 飯塚 JC と台東 JC の交流の新たなかたちを知るために、飯塚 JC 関係者に飯塚 JC と台東 JC との交流の想いのヒアリングを行います。
8. 台東市と 2 市 1 町との国際交流の可能性を知るために、行政・自治体、経済・商工団体にヒアリングを行います。

## 【他事業計画】

- 忘年会の企画・工夫を凝らした動員・実施
- ASPAC、世界会議への参加促進・企画・運営
- 飯塚 JC 全体で取り組む会員拡大
- 飯塚 JC で支える山笠運営

## 【年間事業フレーム】

No.28

No.30

No.31

No.33

## 【委員会運営】

スローガン:みんなで創る、みんなで決める、みんなで支える

(委員会運営方針)

私は 2023 年度、遠方から地元・飯塚に戻り、飯塚 JC に入会しました。右も左もわからないまま、いきなり事務局長の打診を受け、ふたつ返事で引き受けました。初めて聞く言葉や慣れない会議や行事の連続に戸惑う毎日。仕事でも新しい業界に飛び込み、毎朝の社内ミーティングに、どう上手くやれるかではなく、どう立ち回るか逃げ腰になっていました。それでも、そんな私を見捨てず、支えてくれた先輩、励ましてくれた同期、寄り添ってくれた後輩がいたからこそ、1 年間、最後まで役職をやり遂げることができました。そして振り返れば、ただ役職を務めただけの 1 年ではないような気がします。

先輩、同期、後輩といった仲間に支えられ、共に乗り越えた日々が、今、私の想いをかたちづくりました。そして 2025 年度、フォロワーメンバーという立場になり、今度は同じように葛藤する仲間はどう寄り添い、どうすれば前

を向いて進めるのかを考えるようになりました。そこで強く感じたのは、決して一人ではないということです。先輩、同期、後輩といった仲間の存在が、人を成長させる力になるということです。また本音で向き合い、間違っていることを素直に言い合える信頼関係こそ、委員会を創る土台ではないかと考えることができました。そしてもう1つ飯塚 JC に入会してからの私自身の振る舞いを見つめ直し、どう見られるというより、どうありたいかを考え、ゼロから出発するという気持ちで委員会活動に取り組みます。

この経験から、2026 年度の国際的ネットワーク創新委員会では、次のような想いで運営を行います。

1. 委員長・副委員長に頼らず、全員が得意分野をいかして役割を担います。
2. 小委員会や家族交流などを通じて、信頼関係を築きます。
3. 重要な方針は複数人で協議し、助け合いの文化を大切にします。
4. 本音で語り合い、間違っていることも上下関係なく言い合える関係性を育みます。
5. 仲間の存在とチームワークによってこそ、アイデアと成果が生まれると信じ活動します。

それ以上に、人を想う心、仲間を大切にする気持ち、共に歩む力と委員長だから正しい、フォロワーメンバーだから未熟、そんな上下関係ではなく、一人ひとりの立場に寄り添いながら、時に本音でぶつかり合い、互いを高め合える委員会を目指します。

またこの 1 年を通して、委員会メンバー一人ひとりが仲間を大切にし、人を想いやる心を持ったリーダーとして成長し、青年会議所においても、地域社会においても、なくてはならない存在へと活躍する人財を育てます。

一般社団法人飯塚青年会議所  
年間事業フレーム

[illegible]